

## 済美養護学校教育環境の整備等について

済美養護学校の今後の教育環境の整備等について、以下のとおり報告する。

### 1 これまでの経過

済美養護学校は開校以降、児童・生徒数が増加しており、これに対応するため、平成26年度に校舎の増築を行い、その後も図書室の教室転用や印刷室の廊下への移転を行うなど、教室の確保を行ってきたところである。令和2年度に向けては、更衣室及び手芸室の教室への転用改修による2教室の確保を予定しているが、区の人口推計によれば、年少人口は増加傾向にあることから、済美養護学校の児童・生徒数についても、同様の傾向が一定期間続くことが見込まれる。しかし、転用可能な諸室等は既になく、既存校舎内の改修等により対応することが非常に困難であることから、今後済美養護学校の教育環境の整備等を行う必要がある。

### 2 済美養護学校の児童・生徒数（学級数）の推移

昭和54年 <開校>	平成10年	平成20年	平成26年 <増築>	平成29年	平成30年	令和元年
35人(4)	67人(19)	79人(21)	97人(25)	102人(26)	112人(27)	131人(29)

※数値は小中学部合計を示し、( )内は学級数を示す。

### 3 当面の対応等

- (1) 令和2年度中に済美養護学校の中庭に普通教室4室分のスペースを確保できる新たな教室棟を建設する。ただし、当面の教育環境を確保する観点から、2教室分については、この間、普通教室を確保するために転用した特別教室等を再整備し、33学級程度の学校運営が可能な教育環境を整える。建設にあたっては、現状の校舎が敷地の建ぺい率の上限に近い状況であることから、可能な限り代替スペースを確保したうえで既存の屋外体育倉庫等を除却する。
- (2) 上記(1)の対応に併せて、児童・生徒数の増加によりスペース不足が顕著となっている給食配膳スペースの拡張など、既存校舎内の必要な環境整備についても、検討のうえ所要の対応を行う。

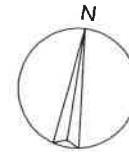
### 4 今後の取組

済美養護学校の教育環境については、今後も児童・生徒数の更なる増加が見込まれるとともに、開校当時に想定した児童・生徒数を大幅に上回る状況となっている。そのため、近隣の施設等を活用した教育環境整備を含め、引き続き検討を行い、本年度末を目途に方向性を決定する。

### 5 今後のスケジュール（予定）

令和元年	11月	第4回区議会定例会に補正予算案を提出
2年	2月	設計、確認申請等建設手続き（～7月）
	7月	増築棟建設工事・倉庫類除却等関連付随工事着手
3年	2月	増築棟建設工事完了（以降、運用準備）
	4月	増築棟運用開始

# 済美養護学校増築棟建設計画図



計画建物
地上2階建（4室） 約130㎡（渡り廊下部分除く）

